

# 梅雨前線による大雨および台風第2号に係る茨建協の対応



### 土浦支部 小林 伸行 支部長

台風2号や梅雨前線の影響による大雨が6月23日にかけて、県南地域を襲った。県建設業協会土浦支部では、つばは分会の会員が3日の早朝から路線パトロールに参加。8日には取手市双葉地区への対応として、夜間に土のう2000袋を作成するなどの対応にあたった。「日常を守る」ことが建設業の使命」と話している。

## 使命果たし地域を守る

県発表によると、県内被害(6月27日時点)のうち、人的被害は軽傷。住宅被害は前1、半壊327、床上浸水31、床下浸水424、一部破損6、公共建物1、その他28。道路冠水等については25市町村で901以上あった。被害件数は取手市が最多で、半壊325、床上浸水242となっていた。

梅雨前線による大雨および台風第2号が6月23日、取手市双葉地区など県内各地を襲い、家屋半壊や道路冠水、床下浸水など多様な爪痕を残した。地域の守り手となる県建設業協会の各支部は路線パトロール活動、土のう積み、復旧作業などに連日対応した。今回、特に管内で被害を受けた土浦支部、竜ヶ崎支部、鉾田支部の各支部長にインタビューを行い、当時の状況を振り返ってもらった。

管内では、土浦学園線(つくば市花室)や東横戸真瀬線(つくばみらい市)の一部で水が溢れたものの大事には至らなかった。また、つくば市森の里(聖崎地区)の住宅地において発生した道路の冠水は、市の要請を受けて地域の業者が復旧の対応にあたった。



土浦学園線(つくば市花室)

小林支部長。今後の対応や求める防災体制について考えを聞いた。当時の状況について「雨がやんだ3日の早朝から、会員が分担して現地の路線パトロールを行い、幸いにも午後には水位が下がった。支部の報告はなかった。支部の会員が一致協力して対応していった」と振り返る。

### 県内の被害状況 2023/6/27 現在

市町村	人的被害	住家被害				非住家被害	道路冠水等
		軽傷	全壊	半壊	一部破損		
取手市				325	242		
鉾田市	1			6	43	1	
つくばみらい市				1	38		3
龍ヶ崎市	1		1	1	19	4	
土浦市				7	14		
茨城町				1	9	1	8
稲敷市				2	14		
水戸市			1		5		7
常総市					10		
美浦村					7		3
かすみがうら市				1	7		
石岡市				5	1		1
小美玉市		1			4		1
つくば市				2	4		
行方市		2				1	
常陸太田市					1		2
阿見町					2		
牛久市	1				1		
守谷市					2		
大洗町					1		
神栖市					1		
河内町					1		
那珂市					1		
常陸大宮市							1
合計	5	1	327	31	424	6	28

※6月14日まで床上浸水に計上していた一部を6月15日からは半壊の被害区分で計上。

では、2日未明から先陣がパトロールを開始。3日早朝から本格的な対応が始まった。浸水被害を受けた地域へ土のうを搬入するため、各支部員が一丸となって土のうを積み上げていった。

3支部長は日ごろからの備えの重要性を語り、小林支部長などは「復旧作業は建設用重機や資材を持っていく業者でなければできない」と口を揃えて訴えた。

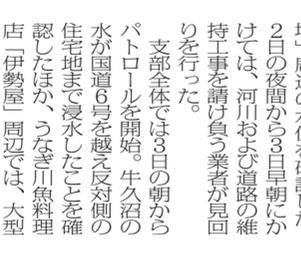
同様に写真や位置情報などを共有でき、これまで電話やファクスで行っていた情報伝達から利便性が格段に向上した。使用感について「大雨の前となる5月下旬に真土浦市庁舎まで搬入荷卸を行った。現地からの報告や情報共有には、スマートフォンアプリ「Webex」を活用した。

防炎体制の構築については、周辺の自治体との意見交換や安全対策会議への参加により、連携を強め役割を明確にしていることが必要と訴える。「これからは降雨量が違う。道路なども豪雨時の水位の高さを表示するなどして、危険箇所の見える化や目で見える対策が必要」と話した。



### 竜ヶ崎支部 細谷 武史 支部長

6月23日にかけて発生した台風2号および梅雨前線の大雨の影響で、龍ヶ崎市の牛久沼は85年ぶりに冠水。周囲では大規模な水被害を受けた。県建設業協会竜ヶ崎支部では、大雨の翌日となる3日朝にパトロールを実施。支部員協力のもと大型土のう2000袋を設置したほか、牛久沼の水門「八間堰」では緊急



牛久沼周辺では大型土のうを設置

に矢板を押し下げた。激甚化・頻発化する大雨災害について、早期の復旧工事と気を引き締める細谷支部長に災害への取り組みを聞いた。大雨への対応では、予報が出た前日の1日に県電ヶ崎工事事務所と打ち合わせを行い、現状を確認するためパトロールを実施。牛久沼南側で谷田川に通じる水門「八間堰」周辺の水位を確認した。2日の夜間から3日早朝にかけては、河川および道路の維持士事を請け負う業者が見回りをした。

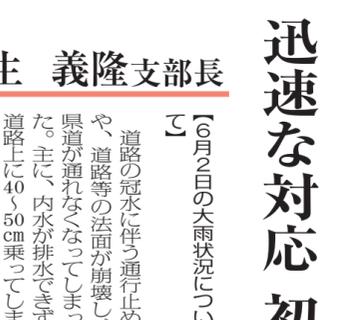
支部全体では3日の朝からパトロールを開始。牛久沼の水が国道6号を越え反対側の住宅地まで浸水したことを確認したほか、うなぎ川魚料理店伊勢屋周辺では、大型

## 連携高め、早期復旧へ



土のう2000袋を設置。また八間堰においては、水位を下げるために緊急的に矢板を押し下げたの対応があった。「牛久沼の冠水は85年ぶり。周囲の地形を見ると低くなっており、浸水しやすい場所とされている。今回の対応急に対応することが求められる。そのためには、普段から地元建設業協会が人材はもっている。指示系統を一本化して、優先順位を付けてもらったほうが動きやすい」と求めた。

近年、激甚化する自然災害に備えるための地元の企業が必要不可欠な「思」と話す。さらに建設業だけでなく自治体との連携も重要視する。「これまで大きな災害時には、命令・指示系統が固く、市町村ごとに分かれていたために、支部内が混乱することがあった。指示系統を一本化して、優先順位を付けてもらったほうが動きやすい」と求めた。



「今回の作業対応を振り返ると、課題はあるが、災害対策として検討していきたい。」

「今後の作業対応を振り返ると、課題はあるが、災害対策として検討していきたい。」

### 民間建築情報

9月10日

- ◆戸建住宅新築①土浦市藤沢十三家946㎡、945・32W造2階建て③107・23㎡④⑤L.S.⑥⑤年6月1日～5年11月11日
- ◆戸建住宅新築①土浦市中央2-1831-12の一部、その他②S造2階建て③123・46㎡④旭化成ホームズ⑥6年6月6日～5年9月25日
- ◆戸建住宅新築①土浦市高岡字愛宕塚2323-1、2324-1②W造2階建て③155・5㎡④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

### 東海村

◆戸建住宅新築①那珂東海村石川原西4-177②S造平屋③117・66㎡④パナソニックホームズ(茨城支社)⑤5年7月1日～5年12月9日

◆戸建住宅新築①那珂東海村石川原西4-177②S造平屋③117・66㎡④パナソニックホームズ(茨城支社)⑤5年7月1日～5年12月9日

### 笠間市

◆長屋(10戸)新築①笠間市中田字南原1-01②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

### 迅速な対応 初動大切に

道路の冠水に伴う通行止めや、道路等の法面が崩壊し、県道が通れなくなりました。主に、内水が排水できず道路上に40～50cm積ってしまった。車が水没してしまったり、人命にかかわる被害はなかったものの、民地の法面崩壊に「どのような作業協力を行うか」が、今後の課題となることが多い。